



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日
東

上場会社名 株式会社ファインシスター 上場取引所
 コード番号 5994 URL <http://www.fine-sinter.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 児玉 将芳 (TEL) 0568-88-4355
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	29,052	3.1	1,605	190.1	1,523	160.7	825	221.6
27年3月期第3四半期	28,181	3.4	553	△26.1	584	△28.3	256	△50.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 496百万円(△68.0%) 27年3月期第3四半期 1,551百万円(14.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	37.48	—
27年3月期第3四半期	11.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	41,690	17,589	37.9
27年3月期	40,339	17,445	38.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 15,787百万円 27年3月期 15,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	0.4	1,800	52.5	1,700	44.6	900	63.7	40.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	22,100,000株	27年3月期	22,100,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	90,191株	27年3月期	84,409株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	22,013,148株	27年3月期3Q	22,017,468株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国をはじめ先進国が順調に推移したのに対し、中国および東南アジアを中心に新興国の景気減速が一層顕著となりました。

一方、わが国経済は、企業収益の改善を背景に緩やかな回復が続きました。

当社製品の主要市場である自動車産業におきましては、国内市場では軽自動車税増税の影響等もあり販売台数が減少しております。しかし、海外市場では米国での利上げや中国での景気減速などの懸念材料はあるものの、引続き販売台数は堅調な伸びを示しております。

こうした状況の中、当社グループでは海外を中心に新規品の立上げが収益に寄与しはじめるとともに、国内では高効率な生産体制の構築およびロス低減活動による原価改善の成果に加え、原材料価格の下落・原油安によるエネルギーコストの負担減等が収益に寄与しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は29,052百万円と前年同四半期に比べ871百万円(3.1%)の増収となり、営業利益は1,605百万円と前年同四半期と比べ1,051百万円(190.1%)の増益、経常利益は1,523百万円と前年同四半期と比べ939百万円(160.7%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は825百万円と前年同四半期と比べ568百万円(221.6%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、国内における売上高は減少傾向ではありますが、米国および中国での無段変速機用部品等、新規品の立上げなどで堅調に推移しました。また、鉄道車両用部品につきましては、新開発の新幹線用ブレーキライニングの受注増などにより、売上高が増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は27,697百万円と前年同四半期と比べ1,025百万円(3.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)につきましては2,500百万円と前年同四半期と比べ1,129百万円(82.4%)の増益となりました。

②油圧機器製品事業

北米医療業界の景気低迷・医療機器メーカーの在庫調整により、輸出減少が拡大しました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,348百万円と前年同四半期と比べ153百万円(10.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)につきましては、372百万円と前年同四半期と比べ64百万円(14.8%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、電子記録債権の増加(前連結会計年度末比402百万円増)等により、15,917百万円(前連結会計年度末比598百万円増)となりました。固定資産につきましては、設備増強等による有形固定資産の増加(前連結会計年度末比1,061百万円増)等により、25,772百万円(前連結会計年度末比752百万円増)となりました。

以上により、資産合計は41,690百万円(前連結会計年度末比1,350百万円増)となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金と設備関係支払手形並びに電子記録債務を合わせた仕入債務の増加(前連結会計年度末比915百万円増)等により、16,315百万円(前連結会計年度末比1,284百万円増)となりました。固定負債につきましては、7,785百万円(前連結会計年度末比78百万円減)となりました。

この結果、負債合計は24,100百万円(前連結会計年度末比1,206百万円増)となりました。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が498百万円増加、その他の包括利益累計額が390百万円減少したことにより、非支配株主持分を除くと15,787百万円(自己資本比率37.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(平成28年2月4日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,031,814	2,983,935
受取手形及び売掛金	7,966,331	7,983,926
電子記録債権	452,701	854,989
商品及び製品	562,067	547,350
仕掛品	1,347,135	1,326,024
原材料及び貯蔵品	1,255,434	1,371,391
繰延税金資産	415,104	492,674
その他	288,865	357,519
流動資産合計	15,319,455	15,917,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,324,263	13,225,882
減価償却累計額	△6,887,896	△7,100,838
建物及び構築物(純額)	5,436,366	6,125,043
機械装置及び運搬具	38,784,852	39,009,082
減価償却累計額	△30,050,893	△30,343,134
機械装置及び運搬具(純額)	8,733,958	8,665,947
工具、器具及び備品	5,983,263	6,443,164
減価償却累計額	△4,927,285	△5,358,648
工具、器具及び備品(純額)	1,055,978	1,084,515
土地	3,612,661	3,562,625
リース資産	1,343,962	1,388,004
減価償却累計額	△649,736	△733,541
リース資産(純額)	694,225	654,463
建設仮勘定	1,570,867	2,072,708
有形固定資産合計	21,104,058	22,165,304
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	116,968	107,465
その他	167,507	149,408
無形固定資産合計	295,883	268,281
投資その他の資産		
投資有価証券	2,516,946	2,478,799
長期貸付金	20,574	14,925
繰延税金資産	920,270	734,143
その他	172,830	121,303
貸倒引当金	△10,265	△10,265
投資その他の資産合計	3,620,357	3,338,907
固定資産合計	25,020,299	25,772,493
資産合計	40,339,754	41,690,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,615,562	4,153,477
電子記録債務	—	2,310,587
短期借入金	4,441,696	5,122,819
1年内返済予定の長期借入金	1,583,048	1,559,432
リース債務	190,808	185,249
未払法人税等	170,944	215,776
未払消費税等	401,121	111,826
未払費用	643,331	751,946
繰延税金負債	4,244	8,351
賞与引当金	870,008	408,917
役員賞与引当金	29,318	24,847
設備関係支払手形	376,716	444,148
その他	703,323	1,017,732
流動負債合計	15,030,123	16,315,112
固定負債		
長期借入金	3,429,695	3,400,809
リース債務	754,107	700,119
役員退職慰労引当金	101,940	84,738
退職給付に係る負債	3,266,209	3,267,717
資産除去債務	307,788	317,362
その他	3,988	14,897
固定負債合計	7,863,729	7,785,644
負債合計	22,893,853	24,100,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,722,945	1,722,945
利益剰余金	9,731,813	10,230,385
自己株式	△26,653	△28,729
株主資本合計	13,631,105	14,127,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,175,552	1,148,657
為替換算調整勘定	1,023,297	610,958
退職給付に係る調整累計額	△148,656	△100,033
その他の包括利益累計額合計	2,050,193	1,659,582
非支配株主持分	1,764,602	1,802,362
純資産合計	17,445,901	17,589,546
負債純資産合計	40,339,754	41,690,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	28,181,399	29,052,729
売上原価	24,826,937	24,628,981
売上総利益	3,354,461	4,423,747
販売費及び一般管理費	2,801,101	2,818,626
営業利益	553,359	1,605,121
営業外収益		
受取利息	6,444	7,559
受取配当金	49,107	56,406
為替差益	100,081	—
作業くず売却収入	31,461	17,480
雑収入	51,254	58,660
営業外収益合計	238,350	140,107
営業外費用		
支払利息	155,316	161,128
固定資産除却損	20,662	12,921
為替差損	—	40,539
雑支出	31,432	7,180
営業外費用合計	207,411	221,769
経常利益	584,298	1,523,459
税金等調整前四半期純利益	584,298	1,523,459
法人税等	278,654	519,709
四半期純利益	305,644	1,003,750
非支配株主に帰属する四半期純利益	49,126	178,707
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,518	825,042

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	305,644	1,003,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	258,092	△26,676
為替換算調整勘定	964,754	△529,053
退職給付に係る調整額	22,526	48,437
その他の包括利益合計	1,245,373	△507,292
四半期包括利益	1,551,017	496,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,325,207	433,510
非支配株主に係る四半期包括利益	225,810	62,946

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,672,006	1,502,181	28,174,187	7,211	28,181,399	—	28,181,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	26,672,006	1,502,181	28,174,187	7,211	28,181,399	—	28,181,399
セグメント利益	1,370,967	437,592	1,808,560	392	1,808,952	△1,255,592	553,359

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,255,592千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,697,172	1,348,849	29,046,021	6,707	29,052,729	—	29,052,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	27,697,172	1,348,849	29,046,021	6,707	29,052,729	—	29,052,729
セグメント利益	2,500,230	372,932	2,873,163	693	2,873,856	△1,268,735	1,605,121

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△1,268,735千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。